1977年12月３日第三種郵便物認可
（毎月18回1・2・3・5・6・7の日発行）

公益社団法人 日本オストミー協会

ＳＳＫＰ通巻9045号
2026年9月3日発行 №339

SSKP

令和8年 9月 339号

公益社団法人
日本オストミー協会
Japan Ostomy Association, Inc.(JOA)

目 次

P2 ・・・・・ 第38回定時社員総会報告
P6 ・・・・・ TUNAGプロジェクト
P7 ・・・・・ 映像プロジェクト
P8 ・・・・・ ライトハウス報告
P9 ・・・・・ Run for Resilience Ostomy 5k
P10・・・・・「輝け、私たちの未来山口」報告
P13・・・・・岐阜県女子会報告
P14・・・・・オストミーの日曜大工
P16・・・・・20/40部会ニュース
P19・・・・・連載：オストメイトの生活を“医療工学”の目で考える③



編集人　公益社団法人 日本オストミー協会
〒124-0023　東京都葛飾区東新小岩一丁目1番地1号の901／TEL 03-5670-7681
FAX 03-5670-7682／URL https://www.joa-net.org／E-mail ostomy@joa-net.org
郵便振替00100-1-172032／銀行口座・三井住友銀行 新小岩支店（普通）1855441

協会ホームページ

公益社団法人日本オストミー協会
第38回定時社員総会議事録

１．開催日時　　令和８年６月21日（日）午後２時00分～３時47分

２．開催場所　　〒500-8521　岐阜市橋本町1-16-23　ハートフルスクエアＧ・中研修室

３．会議の目的事項
報告事項
（１）　2025年度事業報告
（２）　2026年度事業計画
（３）　2026年度収支予算
審議事項
第1号議案
2025年度貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財産目録の承認及び監査報告の件

４．出席代表理事　坂本 純　猪口義武　山本悦秀
出席理事　牛尾幸子　石川尚美　楠 幾代　崎山達也　安江慎太朗　山下益代
出席監事　本間昌明　五十嵐和雄

５．議　事
（１）司会挨拶
開会にあたり山本副会長より司会の挨拶の後、定款第17条により坂本会長が議長席に座る。引き続き、この１年間に亡くなられた物故会員に１分間の黙祷を捧げた。
（２）定足数成立報告
司会より、「現在の代議員総数59名、本人現地出席21名、代理出席３名、webによる出席12名、決議権行使書による出席が14名の合計50名で、定款第19条規定の過半数を超えて定足数を満たしており、本総会は成立しております」旨の報告があった。
（３）感謝状の贈呈
本年の日本オストミー協会表彰には高田宣子、佐藤俊彦および山田千里の３氏が選ばれ、山田千里氏の代理として新居(にい)静枝氏に坂本会長より感謝状が贈呈された。
（４）開会の辞・議長挨拶
【坂本】本日の社員総会の決議は定款第19条の規定により社員数の過半数が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行います。社員の過半数以上の多数が出席しておりますので同規定に基づき、本総会は成立したことを改めて報告します。そして、定款第21条第１項の規定により議事録を作成します。議事録には出席した理事が署名押印することになっています。書記には山本副会長にお願いします。

（５）報告事項
予め送付された議事次第の資料に基づき、坂本会長より、報告事項(1)「2025年度事業報告」、(2)「2026年度事業計画」、(3)「2026年度収支予算」を含む協会全体の現状認識とそれへの今後の対応について、説明があった。

【坂本】
では先ず報告事項ですが、これら書面での報告内容は今年度末に関係省庁に送付したもののいわばコピー版ですのでご承知おきください。
まず、（１）2025年度事業報告ですが、これは私が会長になった昨年６月以降についてお話

しします。10月のブロック会議で全国を回って各支部長さんにお話しましたが、今回、社員総会を開催したのは、唯一の決定機関で年１回の開催が義務づけられているからです。私が初めて受け取った2024年度のＪＯＡの収支決算は約800万円の出超でした。

この現状を代議員の皆さんに直接お会いしてご理解いただかなければとの思いで対面開催とした訳です。

さて会長就任後、８月に堀井会計事務所を訪問しましたところ、４年前からＪＯＡの解散提案を受けていたことがわかりました。その理由は資金の一元管理ができていないからとのことで2011年に公益社団に移行する際、それができなかったと和田、笹岡の両・元会長も認めておられました。

今回の問題は本部の資金がショートして資金繰りが行き詰ったことで、これには相当な改革努力が求められています。公益法人移行時、会員数は１万人で維持されるだろうとの推定でしたが、３月末現在4653人と5000人を切っており、予測に誤りがあったことになります。

これに関連しますが、たまたま元・厚労省のキャリアでコロプラスト社アドバイザーをしている方とお話する機会があったのですが、ＪＯＡの問題として、①公益社団法人になってから国への陳情のみで社会的提言が一切なされていないことで、これは関係する代議士の方々からも指摘を受けています。

そして、②財務的に行き詰っている団体との評価の２点です。加えて内閣府の立ち入り検査が2018年まで３年の一度でしたが、以後10年に一度ということで、かなり厳しいチェックが予想されます。

次に（２）2026年度事業計画です。こういった厳しい本部の状況に対処すべく、会長就任当初からワーキング・グループ(WG)の創設を考え、昨年11月に立ち上げました。これはどなたでも参加できます。何か問題提起があれば、WGからご発言をお願いします。そして行動を起こすことで、ランニングコストとしての2000万円弱をどう使うかですが、結果はともかく「やってみるしかない」ということで、「つなぐプロジェクト」を立ちあげました。

進藤先生からは高額のご寄付をいただきましたが、本プロジェクトへの使用をご理解いただいています。

そして先にも述べましたように、活動の基本を提言型にすることが求められます。世の中の困り事への対処は、ＮＰＯ：０→１、学会：１→10、民間企業：10→50、行政：50→100 との村木・元事務次官の提言があります。ＮＰＯの一つであるＪＯＡとしてもこの０→１がなかなか難しいのですが、まずはアイデアと企画です。学会はＪＳＳＣＲ等との連携を計り、企業は装具メーカーさん等で、この３者が同じテーブルに着くことで、いよいよ行政に出てもらって社会制度を変えていただくとの算段です。その際、ＮＰＯにとって大事なことは中立性で、そしてストーマは正の財産、生き甲斐です。

少し話が逸れました。

３つ目が、（３）2026年度収支予算です。資料は難しいのでわかり易く解説します。13～14頁の貸借対照表と正味財産増減計算書を見て下さい。

貸借対照表はいわば小遣い帳で、残高表です。お金をどうやって運用し、どれだけ残ったかが記載されています。その収支が正味財産増減計算書で、損益計算書です。今季の本部決算では900 万円の出超で、これは主に全国大会と広報の印刷・郵送代です。それで全国大会は中止、会報はＰＤＦ化で対応しようとしており、つなぐ計画には 500万円のご寄付を流用する予定です。

宮城県支部の米澤さんから「つなぐ計画」ではご高齢会員さんへの配慮が必要との意見をいただいていますが、各支部の情報を共有するには優れたアプリだと思っています。

また会報については本当に困っておられる支部さんには本部で対応します。

【小田原】

2025年度の事業報告について具体的にお尋ねしますが、後に文書でご回答いただければと思います。

●支部支援：「・・本部財政も厳しいことから、今後支援方法を検討する必要がある」についてどうされるのかお聞きしたい。また社適委託料にかなりのばらつきを認める。

●経理処理業務：「・・内閣府から求められるガバナンス強化に努めた」を具体的に知りたい。

●ブロック会議表で北海道支部の日程がブランクになっていて、11月号にも会議録の記載がされていない。

●支部活動：データ無しの支部が４支部あり、問題では？

●正味財産増減計算書の残高欄で、昨年度の入会者は 304名で、これを増やそうということは今も重要と思う。

●正味財産増減計算書は本部のみの収支が記載されており、昨年より進歩。やはり本部の資金繰りが気になり、さらなる会員減時代の事務局体制の整備が重要。つなぐ企画も含め、何とか収支相償を目指していただきたい(京都府支部)。

【坂本】いくつか文章化して、回答します。

【伊藤】
本日は支部として色々とご迷惑をお掛けしたことをお詫びします。当支部は支部長の独断的環境下にあり、役員会をやっていません。
ただコスプレ・サミット等比較的若い世代の企画を実行していますので、ＪＯＡの支援をいただければと思っています（愛知県支部）。

【岩田】
いつも言っていることですが、国の公費負担を増やしてほしいと思っています。決まりでは国の負担は50％まで可能ですが、現在は35％です。その結果、市町はその半部の18％でいいだろうとなっています。「何とか国に増額を働きかけてください」と市町の係の方から言われています。厚労省には本部から宜しくお願いします（栃木県支部）。

【高瀬】
「つなぐ計画」の件で、昨日の県支部役員会で意見が出ましたのでお聞きします。
ピアサポート・サロンは続けていただくのがいいと思います。一方、アプリのツールは全体的に無理をしていて、金額的に続けられるのかという意見が出ていました（千葉県支部）。

【大竹】
２点質問があります。10頁のコンプライアンス規定の強化は理解できますが、実際の有事の際、どちらに報告・相談すればいいか教えてください。
もう１点、関東ブロック会議の際、会報の全面ＰＤＦ化については議論の時間が不足していて後日改めてオンラインでしようとの話になりました。それが開催されない間に本部では一気に話が進んでしまっているという気がしており、全国の皆さんの意見をもっと聞いたほうがいいのでという要望です。関係する医療者の方も紙媒体なら目を通すとの話でした。また支部会報も全国の支部に発信して共有すべきと思います（茨城県支部）。

＊「今後の本部から支部への財務支援はどうなるのか？」：現状で本部が資金ショートすると、公益社人として当協会は維持できません。現段階では本部から支部への財務支援は難しいです。今は本部への資金の流入を増やすことが優先課題であると考えています。

＊「ガバナンス強化とは何か」：「ガバナンス」とは「組織を健全に維持するための仕組み（事業・会計・コンプライアンスの確立)」です。当協会にとってそれは「ピアサポート事業・解かりやすい会計制度・コンプライアンスの確立」だと考えています。コンプライアンスの確立については外部の有識者を含む委員会を作り月例会議を制度化して「書面申立制度」により感情論ではなく事実に基づく審査を可能にしたいと現在検討中です。

＊「本部会報のＰＤＦ化について」：会報の紙媒体の発行について今も完全に否定しているわけではありません。紙媒体には当然メリットもあります。しかし現在の当協会本部の財務状況では本部からの紙媒体の発行は厳しいです。

【司会】
以上で、質問は全ていただいたようですので次の決議事項に移ります。

（６）決議事項
第１号議案
2025年度貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財産目録の承認及び監査報告の件

坂本会長より2025年度決算報告書に基づき報告があった。

【坂本】
今期は本部500万円、支部460万円の計 960万円ほどの出超です。支部も 260万円ほど昨年より増加しています。いずれにしても今後は月次報告を確実に実行していく必要があると思っています。内閣府からの要請に対処するためにも、ガバナンスは事業、コンプライアンス、および会計の３つが適切に行われていることが基本ですので、守っていきたいと思っています。以上が決算報告です。

【猪口】
追加です。昨年の監事から今年は財務委員長になって早く報告をしろと言われる立場になりました。まず内閣府に届けるためには６月末までに報告書を作らねばなりませんが、その前に社員総会を開く必要があります。その総会資料は印刷して２週間前に代議員の皆さんの手元に届く規約となっています。そのために各支部の決算は年度末に終わって、４月から一気にまとめなければなりませんが、実際は５月20日ぎりぎりでした。ですので、来期からは４月末までには支部の決算報告を出していただきたいです。例えば自治体に社適で報告する際、公１(相談)，公２(広報)，公３(社適)の３つの事業区分に分けて仕分けをしていますが、会計事務所からは分けなくていいと言われています。早く報告す

ることを最優先にするよう、宜しくお願いしたいと思います。

【小田原】
それに関連しますが、各支部の金銭出納管理を見直していくべきで、その一つの方法としてブロック会議で各支部間の協力支援するのもいいかと思っています。

【猪口】
会計事務所に会長と行った時、フロンティア21をまず直すべきで、その前に自動取り込みを行うと、また若干お金がかかるので少々お待ちください。

次に、監査報告が本間監事より行われた。なお、監査は2026年６月３日に本部にて行れ、「報告書は全ての重要な点において適正に示している」との監査報告書が資料の22頁に掲載されている。

【山本・﨑山Ｗｅｂ担当】
それでは、この第１号議案について、挙手により決を取りたいと思います。賛成の方は挙手をお願いします。
結果：会場での賛成の代議員および代理出席者の挙手は、全24人中の19人、Ｗｅｂでの賛成の代議員の挙手は全12名中の９名、これに議決権行使者14名を加え、全参加者50人中の42人の、規定の過半数を超える賛成により決議事項の第１号議案が承認された。

（７）その他
・事務局報告
【五十嵐】
支部の方には大変お世話になっています。またご迷惑をおかけしていれば深くお詫びします。事務局として若干気付いた点を述べます。日頃の各支部の活動には敬意を表していますが、人的・経済的に格差が拡大しているのではと危惧しています。
また、支部収支報告ではご苦労されていることを本部会計担当者から聞いています。
さらに、各自治体からの給付金に対する報告には問題ないと考えています。
一方、本部では経費の削減に努力していますが、オンライン時代の現在における支出削減は限定的であると思われます。６月15日に会長から提言された再生プロジェクトは少しトーンダウンしたように思われる部分も見受けられます。
本部が多面的な問題を抱える中、議論が偏っているのではないか等、懸念しております。

事務局報告：入会者は平均９名、ＨＰへのアクセス数は多い月で約200件となっています。

（８）閉会：会長が第38回定時社員総会の閉会を宣言した（15時48分）。
その後、会員の活動を記録したビデオが２本放映された。

議事録作成者　副会長　山本悦秀
令和8年６月26日
以上の内容に相違ないことを証する。

議長　会長	坂本　純	印			
副会長	猪口　義武	印	副会長	山本　悦秀	印
業務執行理事	崎山　達也	印			
理　事	牛尾　幸子	印	理　事	石川　尚美	印
理　事	楠　幾代	印	理　事	山下　益代	印
監　事	五十嵐　和雄	印	監　事	本間　昌明	印

デジタルコミュニケーション基盤の整備について
―― TUNAG（ツナグ）導入のご提案とＪＯＡの未来 ――

現状、協会の情報共有は本部からの通知はメールと郵便物。各支部の活動はそれぞれがバラバラに管理。会員同士のつながりは対面の集会のみ。業務の多くは紙と電話とＦＡＸ。これが、2026年の私たちの現実です。会員数は減り続けています。若い世代が入ってきません。なぜでしょう？　情報が届かない、つながりが見えないから。つまり、参加するメリットを感じられないからです。
デジタルで情報を得ている世代に、アナログしか用意できていない。変えるべき時が来ているということです。そこで、会員同士のコミュニケーション活性化、情報共有の強化、そして協会運営のＤＸ化を目的として、組織改善クラウドサービス『ＴＵＮＡＧ（ツナグ）』の導入を提案いたします。

TUNAG（ツナグ）　実際の画面イメージ



孤立したオストメイトを一人も取り残さない。
その理念を、言葉だけでなく、行動として形にしていくための一歩として、本提案へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

TUNAG アプリ　７つの主要機能とJOAでの活用例

社内掲示板
本部・支部からの情報を全員にリアルタイム配信

チャット
支部間・PT・政策グループ連携

アンケート機能
実務調査デジタル化
政策提言データベース化

ワークフロー
入会申請／活動報告の電子化で事務局負担削減

カレンダー共有
総会・理事会・勉強会日程を全員で共有

会員プロフィール
会員情報・支部構成・委員会メンバーを可視化。「誰に聞けばいいか」がすぐわかる

会報閲覧
2026年9月号からPDF版にてTUNAGで配信予定。
印刷・郵送コストの削減。

映像だから、伝えられること
ドキュメンタリーシリーズ『灯台を継ぐひと』が始まりました

日本オストミー協会は、新たな映像プロジェクトとして、
ドキュメンタリーシリーズ『灯台を継ぐひと ― Each One Reach One ―』を立ち上げました。
協会は1969年の創立以来、同じ体験を持つ仲間が支え合う「ピアサポート」を礎として歩んできました。その思いを、次の世代へどう伝えていくか。本シリーズでは、オストメイトをはじめ、家族、支援者、医療者など、一人ひとりの人生を等身大の視点で記録していきます。病気を悲劇として描くのではなく、その人が何を思い、誰と出会い、どのように日々を生きているのかを、静かに見つめる映像です。
誰かの経験が、暗い場所にいる誰かの道しるべになる。そして、受け取った灯が、また次の誰かへ渡されていく。その願いを、シリーズ名の「灯台を継ぐひと」に込めました。
一人から、一人へ。受け取った灯は、また次の誰かへ渡されます。
『灯台を継ぐひと』は、特別な人の物語ではありません。私たちの隣にいる一人の人間が、どのように悩み、誰かとつながり、再び歩き始めたのか。その姿を記録するシリーズです。
映像の中に残された言葉が、まだ見ぬ誰かの灯台になることを願っています。

Vol.1 言葉で、居場所を探す旅

第１作の主人公は、2016年にストーマを造設した中島小百合さんです。
新婚生活の中で突然、体が変わった中島さんは、「夫はまだ、私を愛してくれるのだろうか」と不安を抱きます。一方、長時間の手術を待っていた夫が願っていたのは、ただ一つ。「どんな姿でもいい。生きていてくれれば」ということでした。
その言葉が、中島さんの人生を静かに支えていきます。
中島さんは、自らの体験を匿名のブログに書き始めます。やがて人との出会いを通して、実名で語ることを決意しました。それは、居場所を与えられる側から、誰かの居場所をつくる側へ踏み出した瞬間でもありました。
通訳として言葉と文化をつなぎ、日本オストミー協会の活動を海外へ伝える中島さん。映像は、今も「自分にとって心地よい居場所」を探し続ける、その旅を追っています。
体が変わっても、人生は終わりではない。
人は誰かに受け入れられたとき、もう一度、前へ進むことができる。そのことを、中島さんの生き方が教えてくれます。



視聴はこちらから

動画の視聴にはパスワードが必要です
パスワード：ostomate001

現在準備中 !!

Vol.2 誰かの役に立てるなら

第２作は、秋田県支部長を務めた小野和広さんの記録です。
小野さんは2018年、直腸がんによりストーマを造設。７年間にわたる闘病生活の中で、治療をやめようと思ったことも一度や二度ではなかったと語っています。
そんな小野さんを変えたのが、日本オストミー協会と同じ体験を持つ仲間たちとの出会いでした。支えられるだけではなく、自分も誰かを支える側に立つ。相談に耳を傾け、支部活動に力を注ぎ、自らの闘病体験を『がんとストーマ』として書き残します。誰かの役に立つことが、小野さん自身の生きる力になっていきました。余命を告げられた後も、ホスピスの部屋で書き続けました。最後まで語っていたのは、自分の苦しみではなく、会員のために何ができるかということでした。
小野さんは、死に向かって闘った人ではありません。最後まで、誰かのほうを向いていた人です。小野さんは2025年８月、63歳で逝去されました。しかし、小野さんが手渡した灯は今も消えていません。

学会で、オンラインピアサポートサロン ライトハウスの活動をアピール

本部事務局　松川紀代

2026年７月11日・12日、香川県高松市で開催された第35回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会（ＪＷＯＣＭ）に、オンラインピアサポートサロン ライトハウス のメンバーがブースを出展しました。日本オストミー協会の取り組みを、全国から集まった多くの看護師の方々に直接伝えてきました。その２日間の様子を報告します。

第35回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会（ＪＷＯＣＭ）は、瀬戸内海を望む香川県高松市のサンポートホール高松・あなぶきアリーナ香川で開催されました。四国・香川での開催は今回が初めてとのことです。テーマは「未来に懸ける・架ける・翔けるＷＯＣ看護」。創傷（きず）・オストミー・失禁のケアを専門とするWOCNを中心に、全国各地から医師や看護師、企業関係者など多くの医療関係者が集まる、この分野では国内最大級の学会のひとつです。会場では研究発表や講演、企業展示が並び、２日間を通して熱気にあふれていました。私たちライトハウスのメンバーも、その一員としてブースを出展させていただきました。企業ブースが立ち並ぶ一角に、当事者団体としてテーブルを構え、持参したポスターやチラシを並べると、準備の段階から気合が入りました。



多くの方に手に取っていただいた、ブースの配布物
（第35回JWOCMにて）

ブースでは、日本オストミー協会の活動を広く知っていただこうと、会報を25部、ライトハウスの紹介チラシを 400部配布しました。会報は、順次ＰＤＦに切り替わっているので、本部に在庫として残っていた335～337号です。あわせて「オストメイトの生活と福祉」の冊子を20部お配りし、「オストメイトの手引き」も見本として２冊持参しました。手に取ってページをめくり、関心を寄せてくださる方が何人もいらっしゃったのが印象的でした。新しい取り組みとして、オンラインピアサポートサロン　ライトハウスがどのような場なのかも、立ち止まってくださった方お一人お一人に、直接お話しさせていただきました。ブースでお話ししていると、すでに「ライトハウス」のことをご存じの看護師の方々も何人かいらっしゃいました。ストーマ装具メーカー各社や、全国オストメイトサポート販売店連合会（JOSFA）の皆さんが、医療現場に情報を伝えてくださっているおかげだと思います。本当にありがたいことです。

ブースに立ち寄ってくださった看護師の方々からは、印象に残るお話をたくさん伺いました。「手術のあと、病棟のベッドでふさぎ込んでいる患者さんがいる。この取り組みをぜひ伝えたい」という声。「担当している患者さんがライトハウスに参加して、とても良かった、話せて良かったと言っていた」という声。「チラシを見てすぐに思い出した患者さんがいる、病院に帰ったらすぐに伝えたい」という声。また、「若いオストメイトのことが気になっている。最近、ストーマ外来に顔を見せなくなっている」「ＺＯＯＭができるかどうかはわからないが、話せる場を求めている人がいるのでチラシを渡したい」という声も寄せられました。どのお話にも、患者さんに寄り添おうとする看護師の方の思いがにじんでいて、私たちのほうこそ励まされる時間でした。

ご意見もいただきました。印象的だったのは「オストメイトであることを示すストラップ、以前あったと思うのですが、もうないのですか？」という声。それから、オンラインピアサポートサロンの参加人数についてで、「参加したくても定員がいっぱいで入れなかった」「もっと多くの方が参加できるようにしてほしい」という声も複数いただきました。こうした現場の声を直接伺えたことは、今後の活動を考えるうえで大きな収穫でした。いただいたご意見は共有し、今後の取り組みの参考にいたします。

会場をまわっていると、当協会の調査「オストメイトの生活と福祉」を引用文献としたポス

ター発表を見つけました。私たちが積み重ねてきた調査が、研究の現場でもこうして役立てられていることを実感し、うれしい発見でした。発表者である研究者の方とも直接お話しする機会があり、アンケート調査の設計や集計の手法などについて情報交換をすることができました。また、ブースにお立ち寄りいただいた医療者の皆さんとも、今後どのような形で連携していけるか、いろいろな話をすることができ、実り多い時間となりました。学会という場だからこそ生まれるつながりを、あらためて実感した２日間でもありました。

最終日には、学会長の政田美喜さん（三豊総合病院看護部）が、お忙しい中わざわざブースにご挨拶に来てくださいました。２日間の学術集会を最後まで献身的に支えてこられたそのお姿を間近で拝見し、私たちも改めて背筋の伸びる思いでした。

今回の学会参加を通じて、日本オストミー協会の取り組みを、一人でも多くの医療者に届けられたのではないかと感じています。会場でいただいた「もっと多くの方が参加できるように」というお声も踏まえ、ライトハウスでは今後、ピアサポーターの担い手を増やす研修や、医療者をお招きしてのオンラインセミナーなども企画しています。オストメイトと医療者、そして支部をつなぐ場を少しずつ広げながら、これからも地道に活動を続けてまいります。

オンラインピアサポートサロン「ライトハウス」

オストメイト等の方（一時ストーマ、閉鎖した方々等）ならどなたでも気軽に参加できるオンラインの交流の場です。
手術前後の不安や日々のちょっとした悩みを、同じ経験を持つ仲間と分かち合える場です。

次回の開催日程は日本オストミー協会ウェブサイトでご案内しています。https://joa-net.org/lighthouse/

みなさんのご参加をお待ちしています。



「ライトハウス」という名前には、暗闇の中でも進む方向を示す灯台のように、それぞれが自分のペースで歩んでいくための小さな光となる場でありたいという思いを込めています。これからも、一人抱で込まずに思いを分かち合える場とし継続して開催していきます。

「オストミーデー10/3（土）『皇居５kmチャリティラン』を企画中です！」

この度、東京支部の中島小百合さんを通してアメリカオストミー協会（ＵＯＡＡ）より、
「10／３　ワールドオストミーデーに毎年恒例の『チャリティ５kmラン』を開催しますが、ＪＯＡも参加しませんか？」とのお誘いを受けました。
そこで、10／３に、みなさんの寄付でお揃いのTシャツを着て皇居５kmを練り歩く（走れる人は走って）チャリティランを企画中です。みなさんも一緒に皇居一周を歩きませんか！

「Run for Resilience Ostomy 5k」は、全米オストミー協会（ＵＯＡＡ）が主催する、オストミー（人工肛門・人工膀胱）啓発デーを祝うためのチャリティーイベントです。この活動は、命を救うオストミー手術への社会的理解を深めるとともに、当事者を支援するプログラムの運営資金を集めることを目的としています。

2026年は、10月３日から10日にかけて全米各地の州で対面式の５Ｋ（５キロ）ラン＆ウォークが開催されます。さらに「バーチャル5K」部門も用意されており、世界中どこからでも、近所の公園や自宅のランニングマシンを使って自分のペースで参加可能です。

参加登録者には公式の記念Ｔシャツとゼッケンが提供され、個人やチームで募金活動を立ち上げたり、直接寄付をすることも推奨されています。誰もがスポーツを楽しみながら、オストミーコミュニティを支援できる素晴らしい取り組みです。



参加登録者に提供される公式の記念Ｔシャツ

輝け! 私たちの未来 YAMAGUCHI大会

「ありがとう」としか言えない!

一団体では出来ない。けれど「つながり」で多団体と協働であれば何とかなる

去る６月15・16日にＫＤＤＩ維新ホール（山口市内）にて「輝け！私たちの未来 YAMAGUCHI大会」を開催することができました。

思い起こせば、2018年10月の中国ブロック会議にて2021年の「全国大会」は山口県にて行うと決定され、コロナ禍であえなく中止となりました。今度こそはと臨んだ2026年開催も、昨年の９月に中止となりました。

ならば山口県で山口県らしい大会を開催しようと他の団体様を交えて検討を重ねました。その中で「ストーマパウチをデザインしてパリでファッションショーを行う人たちがいるよ」、「オストメイトで音楽活動を行っている人たちがいるよ」と情報がどんどん入ってきました。

全くの伝手（つながり）無しでしたが、ご協力をいただくことができました。しかも「無報酬」で。更にはその方々のつながりで、新たな方もご参加くださいました。

オストメイトによるがオストメイトのためだけの「大会」を開催する時代の終わりと共に、新たな「大会」の一つの形として提案できたように感じています。

当日の内容を写真と共にご報告いたします。

６月15日(月)の初日の準備は私の大工仲間が椅子や机やパネルなどの重量物の移動にはせ参じてくれました。（この写真が無くて残念です）

初日のメインイベントは「日本福祉医療ファッション協会」の平林敬様、矢野雷太様の講演です。



平林景先生はファッションに身を置く方の通りのひときわ目立つ装いでの登壇でした。

「金なし、伝手無し、スキル無し」の自分にあるのはひたすら「夢を語り尽くす」の講演は、打ち合わせの時の「やるリスクよりもやらないリスクの方が大きいでしょ」を体現されたお話でした。



「障がい者もできるファッション」なんかじゃない。「障がい者だからできるファッション」を目指そうの発想は私にはありませんでした。

続いての矢野雷太先生のお話は、山口県支部も取り組んでいる「がん教育」についてのお話にまで踏み込んだお話を聞くことができました。



つかみの「うんこ味のカレーとカレー味のうんこ」のお話は参加者の心をまさしく「つかみ」ました。

＜参加者談＞

自分が「がん」になるか患者家族になる確率の話は、伝わりやすく、小学生からでも自分事として考えることはできるものに感じました。先生は、どう楽しませて啓発を見てもらうかに情熱を燃やされています。うんこの話で声を上げて笑ったのは子どもの頃以来かもしれません。

健康のことはどうしても、〇〇しなければ×

×になりますよ！という恐い話をしなければなりませんが、どれだけ楽しんでもらえるかで啓発は変わるんだな、と思わせてくださいました。

２日目の６月16日(火)のメインイベントは「アンサンブル・アディ様」のチャリティーコンサートでした。



オストメイトの大西雄二様と左手のピアニスト大西ますみ様のクラシックア音楽の演奏でした。楽曲ごとの大西雄二様のトークは「へぇ～、そうなんだぁ」としみじみとお聴きする内容でした。

コントラバスの重低音は、耳からと言うよりも体全体に響く音色で難聴者の方にも音楽を楽しむことができる可能性を感じました。最終曲の「ゆっくりラジオ体操」では会場の皆様も立ち上がり、或いは椅子に座って参加しました。



アンサンブル・アディ様のYouTubeで配信予定ですので是非、視聴してください。

＜参加者談＞

・大西ご夫妻によるゆっくりラジオ体操は皆様の印象にも残ったご様子でゆっくりというペースがよかったことや語りかけながら音楽を進められることにも皆さん共感をいただいた様子でした。出展者もスタッフも中央の円に集まってラジオ体操をする。一体感が生まれて良かったです。

・「優しさあふれるピアノと深い響きのコントラバスのご夫婦の演奏はオンリーワンですね！音楽の持つ力を感じました」

とのご感想をいただきました。

◇お弁当◇

初日の昼食には広島の平和記念公園近くのお店ワイン ウルル （wine Uluru）様がお弁当を準備してくださいました。





このお弁当はご講演いただいた矢野先生監修のもと、排ガスを抑えられ消化を助ける食材と調理方法で作られたとお聞きしました。オストメイトになって気にすることの一つが外出先でのガス音です。「今はダメ」と困ることもあり、音楽なども楽しめないこともあります。楽しくおいしく食事がいただけて気にならない生活はＱＯＬ向上にもつながります。

２日目のお弁当は近隣の障がい者支援施設で作られたお弁当の提供をお願いしました。（写真が無い）

２日間を通して「つなぐプロジェクト」の映像広報としての中島小百合様と小野和広様の映像を繰り返し放映することも出来ました。

最後に今回のご協力くださった方々を紹介させてください。（敬称略）

・アルケア　・コロプラスト　・コンバテック
・ダンサック　・ホリスター
・西日本メディカルリンク
・ライトハウス　・アンサンブル・アディ
・日本福祉医療ファッション協会
・株式会社　アズリボン　・エピテーゼ
・KIS（川崎市経済労働局イノベーション推進部）
・山口産業保健総合支援センター
・山口県内のWOC（皮膚・排泄ケア認定看護師）
・ホットサロン益田　・学生ボランティア
・赤い羽根共同募金会　・ポポメリー
・女性オストメイトのための下着プロジェクト
・ワイン　ウルル

ご後援くださった行政・医療関係者の皆様
ありがとうございました。
多くの方々のご協力で開催することができました。

「心の底から　ありがとうございました」

山口県支部一同
文責：同事務局長　高下憲治

WOC集会
第35回 日本創傷･オストミー･失禁管理学会 学術集会

７月11・12日に香川県高松市の「サンポート高松」と「あなぶきアリーナ香川」で開催された「ＷＯＣ集会」（私が勝手にそのように呼称しています）に今年も参加することができました。

`似たような集会に「ＪＳＣＣＲ日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会」（こちらも勝手にストーマ学会と呼称しています）どう違うのか？と思ったことはありませんか？

学会としてどちら歴史があるかとか、私たちに近いかの論は不要だと思っています。なぜならＷＯＣは両方に参加し日々研鑽されています。

私がＷＯＣのストーカー(笑)のように両学会へ参加する理由は、オストミー協会の総会よりも各メーカー様からより詳しい話を聞くことができるからです。面板に使用している素材構成やミリ単位でのサイズ決定の根拠を知ることもできますし、新製品の情報も知ることができます。

一番の目的はＷＯＣさんが選んだパウチの理由を学ぶことです。ＷＯＣさんはあみだくじでパウチを選んでいるわけではなく、その患者さんに最もふさわしいパウチを選んでくれています。相談会などで根拠を持って「良いパウチを選んでくださいましたね」と新人オストメイトさんに告げたいのです。

医療者（医者やＷＯＣＮ）の言葉を妄信せよ。では通じない程に患者側の知識も情報も多様化しています。

使用するパウチを変更したい場合には「なぜ変更したいのか」を医療者へ伝える言葉を提案することもできると思っています。

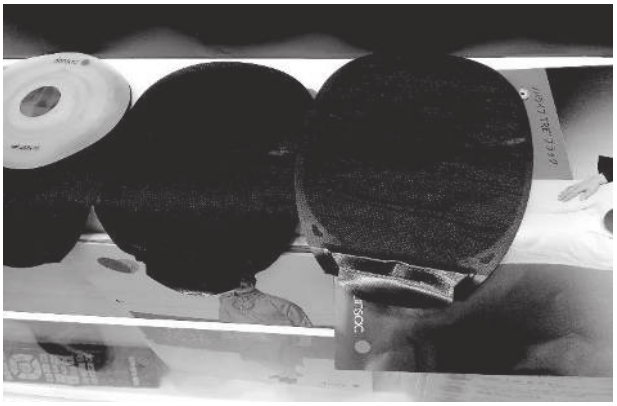
７月11日も12日もオストミー協会から「ライトハウス」と「デコパウチ」の展示ブースがありました。「私たちはこのような活動もしています」を医療者、特にＷＯＣっさんに伝えることは重要だと思っています。ＷＯＣさんから新規のオストメイトさんに「オストミー協会」を紹介されるには、私たちの活動内容を通して信頼される必要があります。

オストメイトのピアサポート団体が存在し、患者さんにも紹介されるような団体を目指さなければなりません。ただ単に「患者を紹介してくれ」で個人情報の壁が崩れるはずもありませんよね　７月11日の第７会場でのシンポジウムでは期せずして、平林景先生と矢野雷太先生の講演があり、パリで開催予定の「デザインパウチ」とそのモデルさんのお披露目がありました。



これまで目立たないように・隠すようにしていたパウチを見せるパウチにしてしまう発想の拡がりを感じました。

今年の10月頃から日本初のブラックパウチがダンサックから発売されるようです。



このブラックパウチ」を装着してフィットネスクラブの浴場に入りたいと思うのは私だけでしょうか？

２日目の同会場でのシンポジウムで知り合いのＷＯＣさんが出演されました。オストメイト専属ナースと勝手に思っていましたが、褥瘡管理者としてベッド（マットレス）の管理や軽微な修繕まで行っていることを知りました。いつも笑顔で対応してくださるＷＯＣさんの大変さに改めて感謝です。

山口県支部　事務局長　高下憲治

岐阜県支部女子会の報告

オストミー協会の活動に参加させていただくようになって数年が経ちました。参加者は固定メンバーで、４年ほど前までは女性の参加はあまりありませんでしたが、ここ２年くらいから徐々に女性の参加者も増えてきました。少しずつ交流を深めていくうちに、もっと女性の方とつながりをもてないだろうか？　きっと皆さんも自身の話がしたいはずだ！と思うようになり、高橋を中心に藤井がサポートする形で女子会を企画することになりました。



女子会開催にむけ、場所はどうするか考えていたところ、ヤガミホームヘルスセンターよりそうだん岐阜様にうかがう機会がありました。よりそうだん岐阜様は、交通の便がよく駐車場もあり、なによりのお店の雰囲気は明るく、女子会の場所としてぴったり！女子会の場所として使用させていただくことは可能か尋ねてみたところ、快くお返事いただきました。女子会のチラシのチェックや、よりそうだん岐阜にご来店された方やＷＯＣナースへのお声かけ、関連業者様へのアピール等々とてもご尽力いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

開催にあたり協会員・非協会員の垣根なくより多くの方に参加していただきたいと思い、参加費無料、予約不要、出入り自由で気軽に立ち寄れることに心がけ、2026年３月14日に第一回女子会を開催することができました。

参加者は協会員４名、新しく参加された方５名、ユニスマイル薬局薬剤師様、よりそうだん岐阜スタッフの方々。「今まで女子会は開催されていなかった。オストメイト歴は長く悩みがあるわけではないが、女子会だったので参加してみようと思った」「ＷＯＣナースさんに女子会があると紹介され参加してみようと思った」など、女子会ならば！と思った方か多く、予想以上にたくさんの方が参加してくださいました。

自己紹介で、オストメイト歴・部位・きっかけの病気などを共有しました。フリートークでは、「大腸カメラはストマから挿入できるの？」「匂い対策はどうしているの？」など話題は尽きず、あっという間に１時間半が過ぎてしまいました。会の終わりには参加者同士連絡先の交換をしました。

ぜひ次回も女子会を開催してほしい！と声が上がり、前回同様ヤガミホームヘルスセンターよりそうだん岐阜様のご協力のもと、第二回女子会を6月26日に開催しました。

１回目参加者６名、新しく参加された方６名（付き添い含む）、薬剤師さんの13名の参加がありました。コロ、イレオ、ウロがそれぞれいらっしゃったので、３つのグループに分かれてお話しました。ウロストミーの方は災害対策どうしているか、イレオストミーの方は大腸がないので脱水に気を付け下痢止めを飲んでいる、薬剤師さんから下痢止めについての助言があったり。コロストミーで洗腸されている方が居て、歴史の浅いオストメイトはその方法にびっくりするばかりでした。これも知識のひとつとして知れたことは財産だなぁと思いました。よりそうだん岐阜のスタッフの方からは、災害時に備えての洗浄剤のお話など勉強になるお話が聞けました。まだまだ話足りない！という雰囲気の中、２回目もあっという間に時間がきてしまいました。

オストメイト・・・外見ではわかりません。まだまだ１人で悩んでいたり話をしたいと思っていらっしゃる方は多いと思いますこのような交流会をどのようなかたちで開催していくのか、伝えていけばよいのか課題と感じつつも、第三回女子会を計画しています。オンライン開催ができるとよいのですが、技術面でおいついていないです。岐阜駅は名古屋駅からＪＲで20分ですので、皆さまお気軽にご参加くださいませ。お待ちしております。

第三回女子会
日時　2026年9月26日（土）
　　13時30分から15時（出入り自由）
場所　JR岐阜駅２階
　　ハートフルスクエアＧ 研修室50
お問い合わせ先
協会岐阜県支部長 竹内龍男　080-3652-8423
（担当者からご連絡いたします）

女子会の様子をよりそうだん岐阜様がブログに掲載してくださっています。こちらの記事もご参考ください。
（ヤガミさんブログのQRコードです）

1977年12月3日第三種郵便物認可
（毎月18回1･2･3･5･6･7の日発行）
公益社団法人 日本オストミー協会
ＳＳＫＰ通巻9045号
2026年9月3日発行 №339

連載 第1回 暮らしから生まれた「我が家のトイレ革命」

ウロストメイトが考案した６つの排泄関連器具と、その背景にある思い

鹿児島県　飯塚和男

高額なリフォームをしなくても、今あるトイレをもっと使いやすくできます。
家族もオストメイトも同じ空間を快適に使える「我が家のトイレ革命」をご紹介します。

2023年、私は膀胱がんステージ４と診断され、ウロストミーになりました。その経験を通じて、コロストミーやイレオストミーの方々が在宅生活で抱えるトイレの悩みや負担を深く知りました。そこで、30年前にイギリスで得た原体験をもとに温めてきたアイデアを形にし、「おしっこキット」「導尿バッグ携行容器」「オストミーの日曜大工」の３つについて特許出願を行いました。本システムは、大がかりな工事をせずに導入できます。健常者とオストメイトが同じトイレを無理なく共用できる仕組みとして、私の自宅でも３年以上、毎日使用しながら検証を続けています。

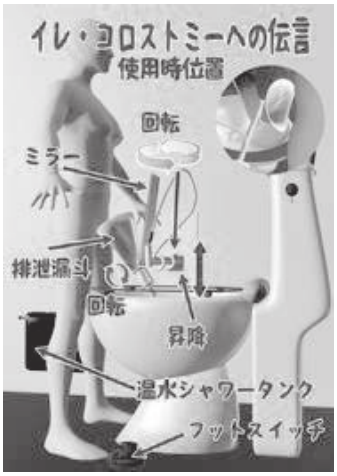
災害時のトイレ環境にも役立つ可能性があります。熊本地震などの被災地でオストメイトが直面した厳しい状況を踏まえると、完全バッテリー駆動で工具を使わずに設置できる点は、停電や断水時にも大きな安心につながります。

- 2020 年特許出願済：『おしっこキット』
  ――日常の尿ハネをできるだけ抑えるため のユニバーサル設計。
- 2025 年特許出願済：『ウロストミー用・導尿バッグ携行容器』
  ――寝室や書斎で、導尿バッグに貯められた尿を直接見ずに処理する自動排泄システム。
- 2026 年特許出願済：『イレ・コロストミー用・オストミーの日曜大工』
  ――使用者に合わせて昇降・回転でき、家庭のトイレで立ったまま又は椅子や車椅子で装具交換や排泄ができる住宅用システム。現在は手動式ですが、特許請求項には音声や手話の技術による駆動も記載しています。

『オストミーの日曜大工』は、日曜大工感覚で設置できる住宅用のシステムです。

移動式は昇降や回転ができるため、車椅子の方を含め、使用者の姿勢や動作に合わせて調整しやすい点が特長です。装具交換や排泄物の処理を楽に行えるだけでなく、使わないときは移動できるため、健常者のご家族とも同じトイレを共有しやすく、家庭内での共用に適しています。

一方、固定式タイプは、賃貸住宅やアパートなど、壁や床に釘やビスを打てない家庭でも使えるよう、突っ張り棒で一時的に支えて設置します。使用のたびに設置・取り外しの手間はありますが、建物を傷つけず、必要なときだけ安全に使えることを重視しています。取り外せば共用できます。いずれも、単なる構想ではありません。私自身が日々の生活の中で使い、安全性や使いやすさを確かめながら改良を重ねてきた、実用を前提とした仕組みです。







安心して使うための機能と衛生管理

この取り組みでは、医療現場や地域包括ケアとの連携を大切にしています。主治医の先生、ストーマ外来の看護師様、皮膚・排泄ケア認定看護師（ＷＯＣナース）の皆様にも、実際の使用状況を動画などでご確認いただきながら、専門的なご意見をいただければ幸いです。

本システムで使用する『導尿バッグ携行容器』は、医療機関や在宅介護の現場で使われている正規の導尿バッグに、排泄を助けるモーターを組み合わせたものです。私はこの仕組みを３年前から使用しており、日々の負担を少しでも軽くし、尊厳ある生活を支える一助になると考えています。

使用時には、ミラーによる目視確認とタイマーを活用し、排泄のタイミングや処理の流れを把握しやすくしています。毎日の決まった所作として続けることで、確認から処理までの手順が自然に身につきます。

将来、加齢や認知機能の低下によって管理が難しくなった場合でも、手順を文字や映像で残しておけば、本人の自立を支えやすくなります。

ご家族や介助者も同じ手順を確認できるため、衛生管理や電気機器の扱いを無理なく共有できます。



119 名様 完全無料モニター募集

この技術を一日でも早く必要な方へ届けるため、現在は開発者である私自身が市販部材を加工し、一台ずつ手作業で組み立てています。将来的な量産化を見据えた限定提供です。手作り品のため、将来の成型品とは形状や仕上げが異なる場合がありますが、実用性能に影響はありません。

連載開始にあたり、在宅でお困りの方や、災害時の備えを必要とされる方へ、完成品を先着 119名様に完全無料（送料着払い）で進呈いたします。

① 全てのオストメイト用『オストミーの日曜大工』固定式　2名様
② 全てのオストメイト用『オストミーの日曜大工』移動式　2名様
③ ウロストミー用『導尿バッグ携行容器』　5名様
④ ウロストミー専用おしっこキット　5名様
⑤ 女性専用おしっこキット　5名様
⑥ 災害・緊急用『男性用・女性用災害時トイレ器具』　100名様

詳しい動作動画とＡＩナレーションによる解説は、公式ホームページでご覧いただけます。

https://www.kazoo12358.com/

お申し込み窓口：kazoo1111@gmail.com

モニターへの応募をご希望の方は、以下の内容を添えてお申し込みください。

『オストミーの日曜大工』をご希望の方：ご自宅のトイレで装具交換や排泄物の処理を行う際、どの動作や姿勢に最も負担を感じているかをお聞かせください。

『導尿バッグ携行容器』をご希望の方：朝や夜間、ベッドサイドで蓄尿を処理する際に感じている負担や不安をお聞かせください。

『おしっこキット』をご希望の方：ご家庭で、立位排尿による尿ハネ、汚れ、においについて、どのようなお悩みがあるかを簡単にお聞かせください。

20/40 Focus Group
公益社団法人日本オストミー協会

20/40 部会ニュース



こんにちは！ 7月号ではご挨拶できませんでしたので、４か月ぶりのご挨拶になります！　夏本番に突入しながらの9月号作成をしております(笑)毎日すんごく暑いです！！

みなさんは、どんな夏を過ごされましたか？この会報がお手元に届くのは９月ですが、９月とは言え残暑が厳しく、まだまだ夏なんでしょうね。毎年、夏が長くなっている気がします・・・ちゃんと秋らしい秋が来てくれます様に！！

20/40フォーカスグループリーダー　脇田 由美子（兵庫県支部）

若いオストメイト交流会 in 大阪府支部 報告

大阪府支部20/40担当　二田　浩

2026年５月30日(土)第23回　大阪市立北区民センターにて若いオストメイト交流会を開催しました。当事者の方、ご家族、看護師、メーカー・販売店の皆さまを含め、28名にご参加いただきました。

交流会の内容は、北野病院の皮膚・排泄ケア認定看護師　松本　忍先生の講演「ストーマケア」の講演のから始まり、その後各装具メーカー・販売店の紹介、講演後に自己紹介（質疑応答を含む）という流れでした。

講演では、ストーマのある暮らしの中で感じやすい困りごととして、袋の膨らみやにおい、皮膚トラブル、温泉利用、災害時の備えなどが紹介され、日頃の工夫や役立つ情報をみんなで学びました。後半には、メーカー・販売店から消臭用品やパウチカバー、防災に役立つサービスなどの紹介もありました。

交流の時間には、参加者それぞれが日常生活での悩みや工夫を語り合い、経験者ならではの体験談や専門職からの助言に、うなずく場面も多く見られました。初めて参加された方からも相談が寄せられ、あたたかな雰囲気の中で情報交換ができた実りあるひとときとなりました。

これからも、安心して集い、支え合える場を大切にしていきたいと思います。

次回交流会は、2026年10月31日(土)開催予定です。（会場は同じ場所です）

皆さまのご参加をお待ちしております。

兵庫県支部　若いオストメイト交流会in神戸

兵庫県支部　脇田由美子

６月28日(日)、神戸市立中央区文化センターにて、20～50代を対象とした若いオストメイト交流会が開催されました。

当日には、兵庫、大阪、京都の方、遠方からは、愛知、香川、和歌山、島根から来てくださいました。講演いただいたＷＯＣナースさん、メーカー・販売店の方を含め、総勢26名の参加がありました。

交流会では、前半に神戸百年記念病院の皮膚・排泄ケア認定看護師の清水弘美さんから「ストーマケアの基本的な手技の確認と合併症について」お話していただき、講演中、ストーマ歴やストーマ種類などテーマに沿った話題を参加者へ質問しながら進めてくださいました。今は

大丈夫でも、将来抱えるかもしれない合併症についてしっかり学ぶことができました。

後半では、コロ・イレ・ウロ＆ダブルの３つのグループに分かれてのグループ交流を行いました。コロチームでは、ストーマサイズ、外出時のトイレの不安、消化に悪いキノコや海藻類は控えようなどの話題がでたようです。イレチームは、体重が増えない、障害年金の申請について初診日がいつになるか問題などイレならではの悩み相談が多かったようです。

ウロ＆ダブルチームでは、みんな比較的悩みの無いメンツで、それぞれの装具の貼り替え場所、手順やタイミング、後は障害者手帳を上手く使って色々とお得に役立てている話題で盛り上がりました。

みんなそれぞれ試行錯誤を繰り返して自分に合った交換の方法・手順があって面白いなと思いました。こんなお話が出来るのは、交流の場ならではだなと実感いたしました。



原稿募集!!

趣味や仕事、旅行に恋愛など、色んな体験談を書いてみませんか？
失敗談や、それを乗り越えたこと、楽しかったことなど、なんでもＯＫです！
メンバーに聞いてみたいことでも良いですよ (^^)/
書いてみたいなという方は、こちらのアドレスまで連絡お願いします。
連絡お待ちしていまーす !!

20/40 部会　2040fg@gmail.com　担当 脇田

若いオストメイト交流会のご案内

新型コロナウイルス感染拡大以降、オンラインのみでの交流会が増えていましたが、現在は対面での交流会や、オンラインとのハイブリット形式の交流会を開催している支部もあります。

今後の開催情報・詳細は下記のサイトをご覧いただくか、各支部へお問合せください。たくさんのご参加お待ちしています。

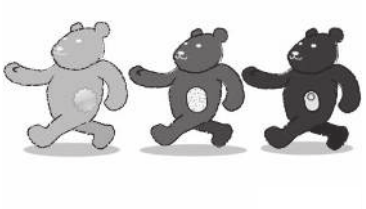
神 奈 川 支 部	日時：令和8年10月25日（日）13:30～16:30 場所：ボーノ相模大野３階 ユニコムプラザさがみはら セミナールーム２ 内容：①コロプラストゆうじん健幸プログラム オストメイト向けエクソサイズ ～トレーナーさんと一緒に体を動かそう～ ②装具メーカー・販売店による装具紹介と展示（予定） ③グループ交流 ☆参加申し込み不要　直接会場にお越し下さい。 問い合わせ： 石野まち子 TEL ： 070-3998-8992

大阪府支部	日時：令和8年10月31日（土）13：30-16：00 場所：大阪市北区民センター　第２会議室 講師：未定 内容：講演・先生を交えた相談会・フリートーク・業者装具展示など 対象：20代～50代の会員・非会員のオストメイトとそのご家族 医療関係者の方のご参加も歓迎します 参加申し込み：不要 担当幹事：ニ田　浩　TEL：090-1191-1271
北海道支部	日時：令和8年9月２６日(土)13:30～16:30 方法：対面＆オンライン 会場：北海道難病センター 内容：①オストメイト当事者による体験談発表 ②教えて！ ＷＯＣナースさん！！ アドバイザー　札幌医科大学附属病院 皮膚・排泄ケア認定看護師　長谷川 将 氏 問い合わせ＆オンライン申し込み先(オンライン締め切り9月19日まで) 北海道支部長　須佐理恵子　TEL　090-1387-8399 Mail　rieko.mimi@gmail.com

※各地域で若いオストメイト交流会をしてみたいけど、どうしたら良いの？？など、
支部との橋渡しなど相談にも乗らせていただきますので、
その際は、こちら、2040fg@gmail.comまでメールくださいませ。

ホームページ　http://2040focus.jp/
ブログ　http://2040focus.blog10.fc2.com/
Facebook　https://www.facebook.com/2040focusgroup.ja/
X　https://x.com/joa2040fg

ホームページ　ブログ　Facbook　X



連載

オストメイトの生活を“医療工学”の目で考える ③
「医工連携」の先にあるもの
―オストメイトと“生活のための技術”―

三多摩支部　川口武文

前回まで私は、本連載で「医工連携」という言葉について考えてきました。一般には、医療と工学が連携し、新しい医療機器や支援技術を生み出していく取り組みとして理解されていると思います。

しかし最近、私は改めて興味深く感じたことがありました。実は日本には、大学・医療機関・企業・行政などを横断して結びつける「医工連携プラットフォーム」とも言える組織や活動が、既に存在していたのです。

その一つが「医工ものづくりコモンズ」です。慶應義塾大学などが中心的役割を担いながら、医療・工学・産業・行政を結びつける活動を行っています。また「Health Commons」のように、「健康」そのものを社会全体で支えるという考え方を持つ取り組みもあります。

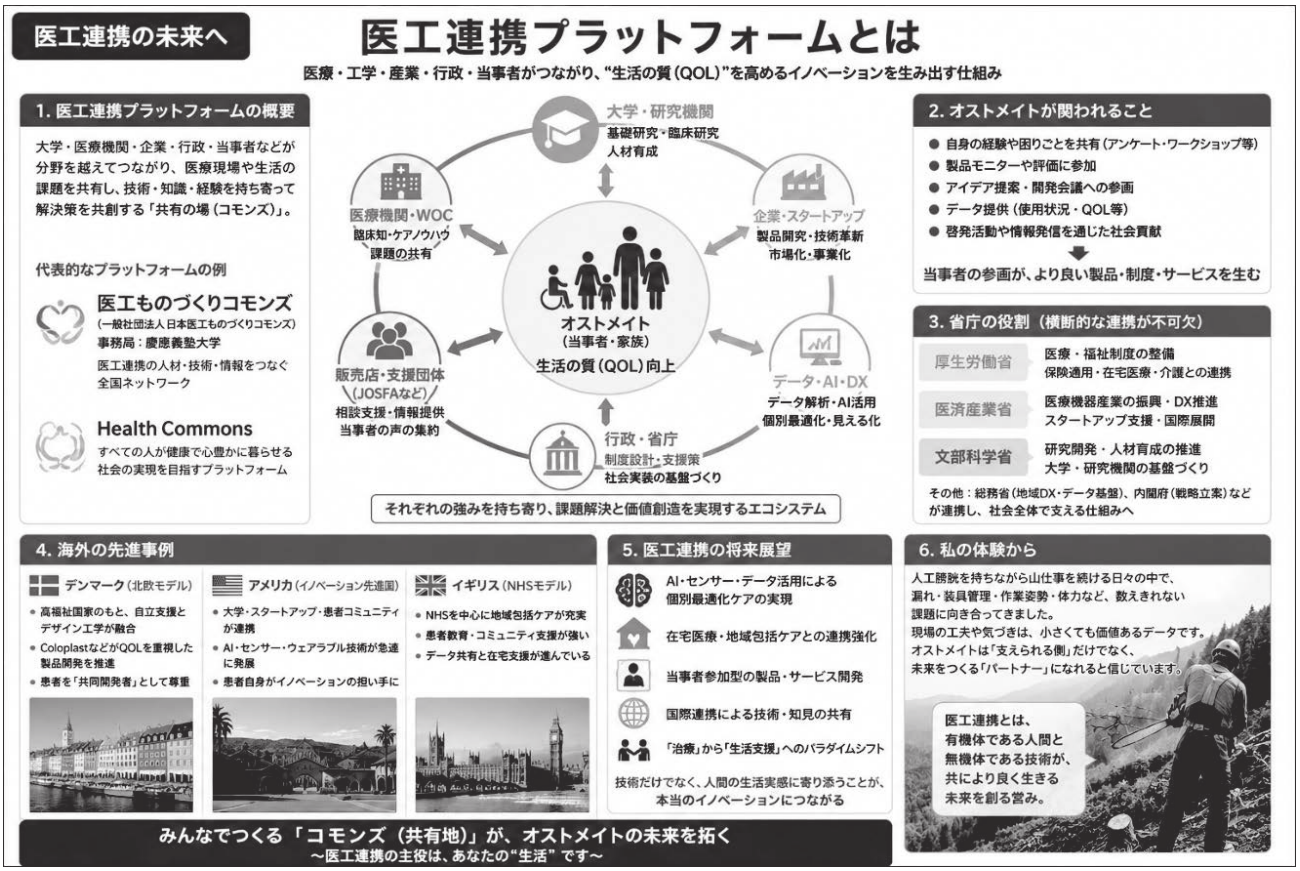
正直に言えば、オストメイト当事者である私自身、最近までこうした存在をよく知りませんでした。そして、もしかすると多くのオストメイトやＷＯＣ看護師の方々にも、まだ十分には知られていないのではないか、と感じています。

しかし考えてみると、オストメイトの生活ほど「医工連携」が必要な分野は少ないのかもしれません。

ストーマ装具一つ考えても、

- 漏れ
- におい
- 皮膚障害
- 睡眠
- 外出
- 災害時対応
- 高齢化
- 就労
- 介護

など、多くの課題があります。そこには単なる「医療」だけではなく、材料工学、デザイン、ＡＩ、ＤＸ、データ活用、流通、福祉制度など、実に多くの分野が関係しています。



私は人工膀胱を造設して以降も、山でチェンソーを持ち、草刈りや炭焼きを続けています。しかし現実には、尿漏れや装具管理との付き合いは日常であり、「どう身体を動かすか」「どう作業姿勢を工夫するか」を常に考えています。

もちろん、それは特別な話ではありません。多くのオストメイトの方々が、それぞれの生活の中で、日々試行錯誤をされていると思います。

ただ、そうした一つ一つの経験は、見方を変えれば非常に貴重な「生活現場の知恵」なのかもしれません。つまりオストメイトとは、単に「支援を受ける存在」というだけではなく、生活の中から多くの課題や改善点を見つけ出している存在でもあるのではないでしょうか。

海外を見ると、そのような考え方はさらに進んでいるようにも感じます。たとえば北欧では、Coloplast のような企業が、「生活の質（ＱＯＬ）」を重視した製品開発を進めてきました。そこには、患者を単なる利用者ではなく、「共に考える存在」として見る視点があるように思えます。またアメリカでは、MIT や Stanford University を中心に、ＡＩやウェアラブル技術、遠隔医療などの研究が進んでいます。慢性疾患患者自身が技術開発に関わる事例もあるようです。

一方、日本は医療技術や保険制度の面では非常に高い水準にあります。しかし、「当事者参加型医工連携」という点では、まだこれからの部分も多いのかもしれません。

また、この問題は一つの省庁だけで対応できるものでもありません。

・厚生労働省 は医療・福祉制度
・経済産業省 は医療機器産業やＤＸ
・文部科学省 は大学研究や人材育成

など、それぞれ異なる役割を持っています。

つまり医工連携とは、単なる医療機器開発ではなく、「医療」「生活」「産業」「地域社会」を横断するテーマなのだと思います。

私は最近、「コモンズ（共有地）」という言葉に惹かれています。医療は医師だけのものではなく、福祉は行政だけのものでもありません。技術もまた、企業だけのものではないのでしょう。そこには、当事者、家族、看護師、販売店、研究者、企業、行政など、多くの人々が関わる“共有の場”があるように思えます。

そう考えると、これからの医工連携とは、単に新しい機械を作る話ではなく、「人がどう生きるか」を支える技術や仕組みを、皆で考えていく営みなのかもしれません。

ＡＩやセンサー技術が進化しても、最後に大切になるのは、人間の身体感覚や生活実感なのではないでしょうか。

人工膀胱を持ちながら山仕事を続ける日々の中で、私はそんなことを時々考えています。

オストメイトのための、無料の会員組織

つながりからはじまる笑顔のおてつだい
まごころ



年会・入会費 無料

製品やストーマケアについてのご相談窓口や
情報提供など、6つの便利な特典をご用意しています!

ご相談窓口
（電話・メール）
専門知識豊富な
ベテランスタッフが対応!

会報誌
（年2回発行）
会員様の体験談や
お便りなどが満載!



お役立ち情報をお届け
メールマガジン

LINEでの
役立つ情報配信

会員限定の
WEBサイト

災害時の連絡
安否確認や緊急連絡

さらに今ならプレゼント



どちらか選べる!

ストーマの基本が学べる
ガイドブック または DVD

ご入会希望の方はこちらまで!

●電話でお申込の場合
株式会社 ホリスター まごころ事務局
フリーコール 0120-696-017
受付時間:10時~17時（土日祝を除く）

●WEBでお申込の場合
右QRコードより簡単に
入会申し込みができます。

消臭潤滑剤はストーマに必須のアイテム！

デオール 消臭潤滑剤





3つのおすすめポイント

1. 天然由来の柿渋エキスで、抜群の消臭力
2. 高い潤滑力を生む成分の配合によって、スルッと排出
3. 片手で注入、光劣化防止ボトル、ライトブルーの液など優れた使いやすさ

無料サンプル配布中！

用途に合わせたラインナップ！



ボトル
残量が見える！
製品番号 9301
250 ml
3,190円（税込）



つめかえ用
お買い得製品！
製品番号 9330
200ml
2,178 円（税込）



サンプルあります
ミニパック
外出時に便利！
製品番号 9322
10袋/箱
1,397 円（税込）

製品情報の詳細や使い方、サンプル請求は右上の二次元コードよりアクセス！

※当チラシ以外でのご案内も含め、同一サンプルのご提供は、お一人様１回限りとさせていただきます。※その他、場合によってはサンプルのご提供ができないことがありますので、予めご了承ください。

コロプラスト株式会社 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30 イタリア文化会館ビル11F www.coloplast.co.jp 0120-664-469 平日9時～17時

LINE友だち募集中

ストーマ装具メーカーのコンバテックが役立つ情報をお届けします！

今すぐお友だち登録！ LINE

お得なキャンペーン イベントの情報

新製品などの製品情報

看護師による お悩み相談

ストーマ保有者向け エクササイズ

convatec —よりそい、つなぐ—

コンバテック ジャパン株式会社
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-7

資料請求 お客様相談窓口
0120-532384

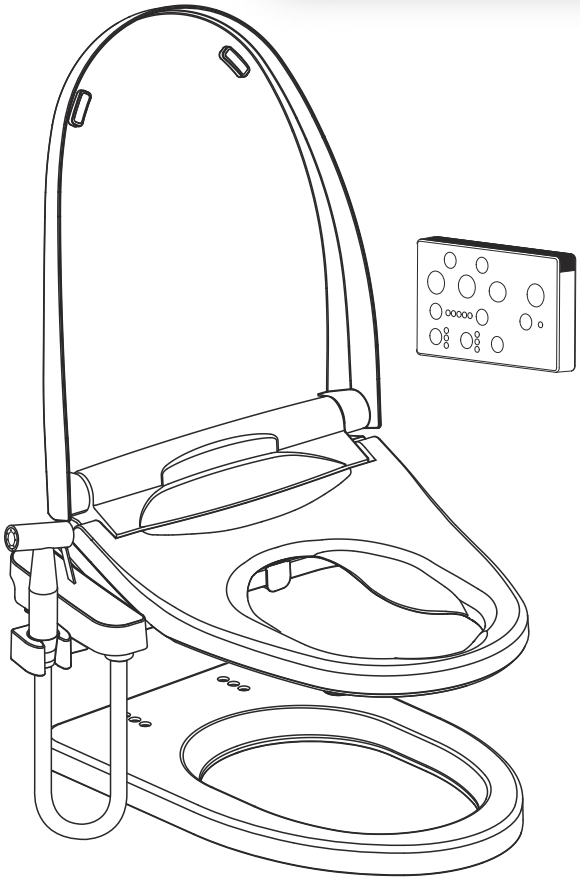
@2024 Convatec Inc. AP-66702-JPN

ZA FREE

日本オストミー協会賛助会員

温水洗浄便座

前広便座のご紹介です





★STK-B200W/リモコンタイプ
メーカー希望小売価格
121,000円(税込)
TAISコード:01963-000001

★STK-B400W/袖タイプ
メーカー希望小売価格
87,780円(税込)
TAISコード:01963-000002

新製品
CARE SHOWER
STK-X800W/ハンドシャワータイプ
メーカー希望小売価格
165,000円(税込)

★マークは介護保険対象製品です

※詳細は市役所の「介護保険課」など窓口で事前に御確認ください。
介護保険における 福祉用具の販売は、都道府県の指定業者に限られています。



ケアシャワー

・オストメイトのパウチ処理後の洗浄
・トイレ洗浄
・汚れた排泄用具の洗浄
・便器のフチ裏の洗浄

外出時のトイレサインの表示



●オストメイトマーク
人工肛門・人工膀胱を造設している人(オストメイト)が、パウチを処理・交換するために汚物流しなどの洗浄設備があることを表しています。



●前広便座マーク
人工肛門・人工膀胱を造設している人(オストメイト)が、座ってパウチ処理できる前広便座「ZA FREE」を設置していることを表しています。
オストメイトの方が分かりやすいよう、「オストメイトマーク」とは区別したサイン表示をいたします。

前広便座 とは?

オストメイトの方のご要望を受けて開発した製品です。中腰姿勢や椅子を持ち込んで行っている毎日の排泄処理を、前広便座を使って楽に 行ってみませんか? 今お使いの便座に交換するだけでご使用頂けます。
もちろん、ご家族の方もご使用できる共用品となっています。

施工は便座の交換のみの簡単設置



既存トイレを活かすことで、広いスペースでなくても施工可能です。

※上から見たイメージ

製造・販売元

さつき株式会社
〒542-0081
大阪市中央区南船場4丁目10番29号
TEL:06-6252-4751(代表)

公式HP

LINE公式アカウント

“新発売”次世代ストーマパウチ用　除菌消臭潤滑剤

商品名：グラフィックA-B



レギュラー236ml	詰替え用1000ml
3,300円(税込)	7,920円(税込)
製品番号　000201	製品番号　000202

においが気になる方
ぜひお試しください!!



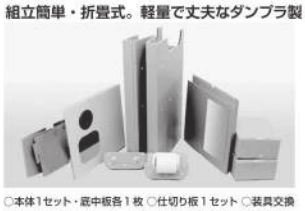
サンプル依頼はこちらまで

グラフィック株式会社
TEL:042-401-5340
（月～金 10:00～17:00）
FAX:042-331-2943

お求めはストマ用品のお店で
ご購入ください。
サンプルは当社にご依頼ください。

災害時の備えに
非常時オストメイト専用トイレ
ベンリー・オスレット
災害備蓄用 オストミー対応
簡便容器式

組立簡単・折畳式。軽量で丈夫なダンプラ製





○本体1セット・底中板各1枚 ○仕切り板1セット ○装具交換カウンター1セット ○ペーパーホルダー1個 ○フック掛け1個・鏡付きフタ1枚 ○取扱説明書1枚 ○蓄便袋200枚 ○汚物袋18枚 ○使用済装具袋2枚 ○便凝固剤200包
※トイレットペーパーは別売です。

特　徴
- 組立てが簡単、折り畳んで収納できます。
- 鏡付き装具交換カウンター（※体重をかけないで下さい）
- 汚物槽と廃棄物槽が別構造で分別が容易。
- 中間部に扉付ストックスペースを設置。
- ペーパーホルダー付（※左右どちらでもセット可能）
- 荷物掛け用フック付（※荷重耐限2kg ※貴重品等かけないで下さい）

組立・収納・使用方法の動画はこちらからご覧になれます ⇒

発売元
株式会社 ケンユー
広島県福山市曙町4丁目7-30
☎084-954-2600
www.kenyuu.co.jp

腸からキレイをつくる新習慣。みんなをスッキリ爽やかに!!

シャンピニオンゼリー® CHAMPIGNON JELLY

※BX100FPD 換算
シャンピニオンエキス 215mg※
×
乳酸菌 nano ECF 2,000億個/粒

1粒わずか14.6kcalの
おいしい梅味ゼリー

30粒入り約1ヶ月分
¥3,900(税抜)
¥4,212(税込)

10粒入りミニサイズ
¥1,500(税抜)
¥1,620(税込)



発売元
日東製薬株式会社
〒156-0043 東京都世田谷区松原 2-34-15 和泉ビル 301
フリーダイヤル
0120-582-824
ホームページ：https://nittou-group.co.jp/

1977年12月3日第三種郵便物認可
（毎月18回1・2・3・5・6・7の日発行）
公益社団法人 日本オストミー協会
ＳＳＫＰ通巻9045号
2026年9月3日発行 №339

ALCARE

つなぐ手あて、ひらくケア。

今日もキレイが目に見える

デイリーデオワイプ

ストーマ装具用排出口拭き取りシート

においが良い香りに変わる
ウェットタイプ
トイレに流せる
ノンアルコール

選べる2つのラインアップ



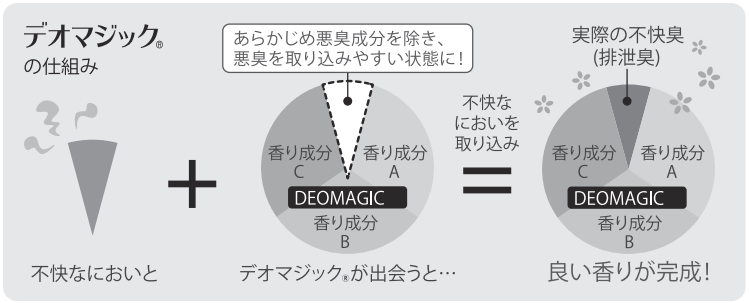


特長1　新発想の消臭技術「デオマジック®」配合！

「デオマジック®」はシキボウ（株）が開発した、悪臭成分と合わさると、良い香りになるように作られた臭気対策成分です。この方法は、香水づくりの原理を応用しています。

※すべてのにおいに効果があるわけではありません。また香りの感じ方には個人差があります。
＊デオマジック®はシキボウ（株）の登録商標です。

「デオマジック®」は不快なにおいを「消す」・「ごまかす」のではなく、利用して良い香りに「変える」※



特長2　ウェットタイプで拭き取りらくらく！トイレに流せる！

こんなお悩みはありませんか？

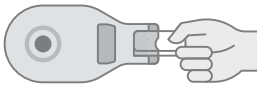
- 排出口がキレイに拭き取れない
- 排出口の拭き取りに時間がかかってしまい大変
- トイレに流せないシートだと捨てるのが手間

サッと取り出す



排出口を持ったまま片手で取り出せる（80枚入りのみ）

スッと拭き取る



便のこびりつきを素早くキレイに拭き取れる

ポイッと捨てる



拭き取り後はトイレに流せる

※「お試しタイプ10枚入り」の取り扱いが無い販売店もあります。取り扱い状況は販売店にお問い合わせください。

製造販売元：日本製紙クレシア株式会社

販売元
アルケア株式会社
東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
www.alcare.co.jp

お問い合わせ：お客様相談室
フリーダイヤル 0120-770-175
土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:30

発行人 障害者団体定期刊行物協会　〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷102号室
領価 200円（会費に含まれている）